

SEKAI NO OWARI / Stray Kids / Aile The Shota / chelmico / BABYMETAL / ジャニーズWEST「METROCK」ほか

PMK

Entertainment Live Magazine
ぴあ MUSIC COMPLEX
Vol.23


特集：ライブエンタテインメントの現在！

SEKAI NO OWARI

話題曲「Habit」、初の4大ドームツアー！最新ロングインタビュー & 100Q ほか全48P
著名人、MV監督らの証言とともにSEKAI NO OWARIの現在を伝える

Stray Kids / Aile The Shota / サカナクション「15.0 STUDIO SESSION」
chelmico / BREIMEN / BABYMETALのTHE OTHER ONE
ジャニーズWEST「METROCK OSAKA」 / 時速36km × CRYAMY ほか

ぴあMOOK

A black and white promotional poster for BABYMETAL THE OTHER ONE. The background is a dense, intricate pattern of mechanical gears and metal parts. In the center, a young woman with short hair and bangs, wearing a dark, textured, high-collared outfit, looks directly at the camera with a serious expression. The word "BABY" is written in large, bold, red capital letters in the top right corner. The main title "BABYMETAL THE OTHER ONE" is written in white capital letters across the middle. Below it, the text "KOBAMETAL が初めて語る、" is written in white, followed by "BABYMETAL 'THE OTHER ONE'" and "そして 'METALVERSE'" in white. Below that, "BABYMETAL THE OTHER ONE" is written in white. At the bottom, "THE OTH" is written in large, bold, red capital letters.

BABY

**KOBAMETAL が初めて語る、
BABYMETAL "THE OTHER ONE"
そして "METALVERSE"**

BABYMETAL THE OTHER ONE

BABYMETALのプロデューサー、KOBAMETALが登場。

メディアで初めて語る「THE OTHER ONE」、そして、「METALVERSE(メタルバース)」が目指すものとは？

阿刀大志=取材・文

"THE OTH

METAL

ER ONE”

BABYMETAL

写真左から右：SU-METAL (Vocal, Dance), MOAMETAL (Scream, Dance), 2010年結成。2020年10月、結成10周年イヤーを迎え、12月、ベストアルバム「10 BABYMETAL YEARS」を発表。2021年4月15日、「10 BABYMETAL BUDOKAN」と題した日本武道館10公演を完遂し、同年10月ライブ活動を封印。

THE OTHER ONE

ライブ活動封印中のBABYMETALの新展開。バーチャルワールド「METALVERSE (メタルバース)」を通じて、我々の知らなかったBABYMETALを復元させる計画「THE OTHER ONE」が始まる、というもの。



KOBAMETAL

プロデューサー、作詞家、作曲家。キツネ様のお告げを届けるメッセンジャー、そしてBABYMETALをプロデュースするマスターマインド。近著は『10 BABYMETAL LEGENDS』（びあ）、『鋼鉄っぽいのが好き - 人生9割メタルで解決 -』（KADOKAWA）

昨年10月10日、BABYMETALはすべてのライブ活動を〈封印〉し、世界中のファンに大きな衝撃を与えた。そして、今後の活動がまったく見えない中、今年4月1日の〈FOX DAY〉に突如として誕生したのが〈METALVERSE（メタルバース）〉だった。このバーチャルワールドを通じて、「我々の知らなかったBABYMETALを復元させる計画“THE OTHER ONE”」が始まるという。しかし、多くのファンはこの突然の展開に戸惑った。メタバースやNFTといった最近の流行に乗ろうとしているだけなのか、それとも何か大きな思惑があるのか。そこで今回、BABYMETALのプロデューサーKOBAMETALに話を聞いたのだが、彼の口から語られたのは、BABYMETALと彼女たちのファンが一つになってコロナ禍以降の不安定な未来を生き抜くための長期計画だった――。

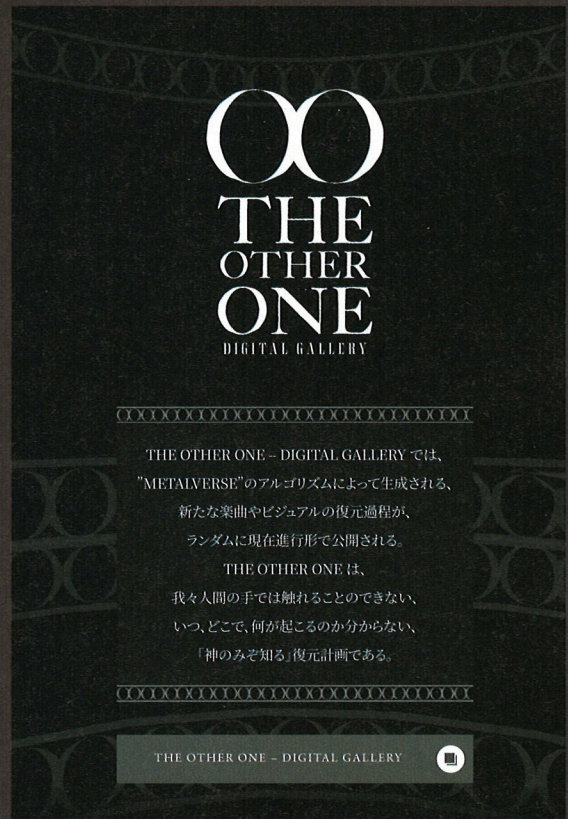
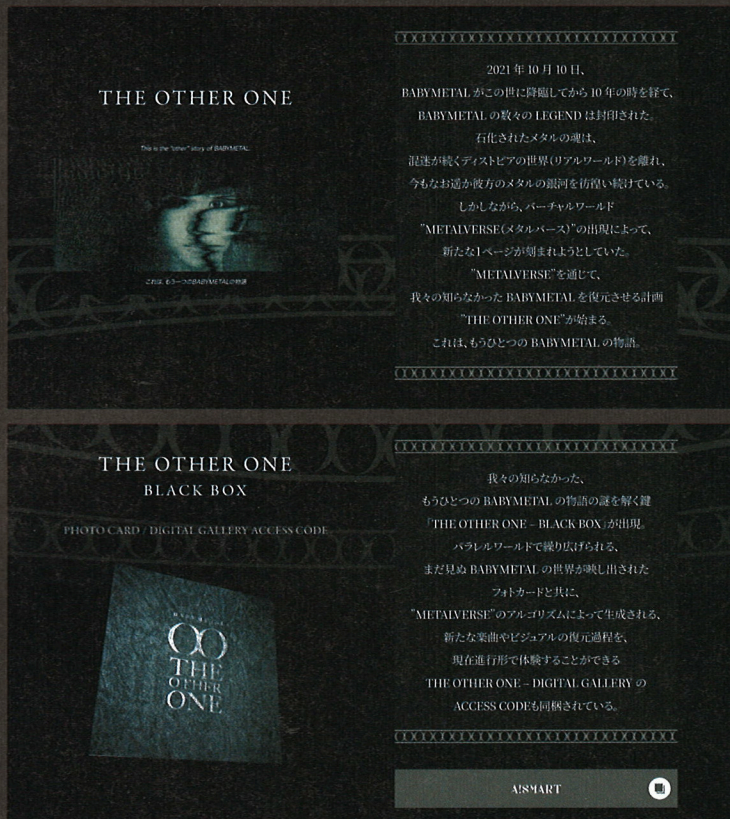
――昨年9月に発売された『10 BABYMETAL

LEGENDS』（KOBAMETAL 著）のその後と言いますか、BABYMETALがライブ活動を〈封印〉したあとのことを聞かせてください。KOBAMETAL BABYMETALが始まって10年という節目を迎えて、次の物語へ向けて一旦幕を閉じて今に至っているわけなんですけど、その中でBABYMETALという存在が何なのか、BABYMETALの世の中における役割は何なのかをもう一度見つめ直してみました。――どんなものが見えてきましたか。

KOBAMETAL BABYMETALには「これまでの世になかった新しいメタルの誕生」という意味合いもあって、オンリーワンをテーマに活動をしていきました。国内外のさまざまな場所を訪れて、楽曲、パフォーマンス、ライブを含めて、常識や型にとらわれずにいるんなことにチャレンジして、毎回人を驚かすようなことをやってきたのがこの10年のBABYMETALだったと思ったんですね。

――僕もずっと追いかけていましたが、非常

ライブ活動をできるということは、決して当たり前ではない



昨年10月10日、BABYMETALはライブ活動を〈封印〉。そして、今年4月1日の〈FOX DAY〉に発表された「THE OTHER ONE」のステイトメント。

に濃密な時間でした。

KOBAMETAL ただ、これはいいことでもあるんですけど、BABYMETALの型というものをこの10年で作り上げていく中で、「BABYMETALってこうだよ」というものが固まり過ぎたところもあって。もともとは、今までになかったもの、常識の範疇を超えていくものにチャレンジしていくことを目指していたので、いま改めてそういう要素が必要なのかなと考えました。

——たしかに、BABYMETALとしての型が完成したところがありますね。

KOBAMETAL この前、たまたまメタリカとアイアン・メイデンの話になって、メタリカってあれだけのキャリアがあるレジェンドであるにもかかわらず、たまに「おや?」と思うようなことをやるじゃないですか。ルー・リードさんとコラボしたり、50組を超えるアーティストが参加したトリビュートアルバム『The Metallica Blacklist』を出したり。そんなメタリカとすぐ対照的なレジェンドがアイアン・メイデンで。彼らはあれだけのキャリアがあるのに絶対に枠をはみ出さないと言いますが、エディというキャラクターが必ずいて、新曲も聴けばすぐにアイアン・メイデンとわかる上に、過去の曲ともちょっと違う絶妙なさじ加減で切っても切っても常

にアイアン・メイデンが出てくるという安心感がある。そこがメタリカと対照的だし、面白いと思っているんですよ。それで、BABYMETALはどちらのタイプかというメタリカタイプだと思っていて、楽曲、コラボ、ステージ演出などにも通じるんですけど、キャリアを重ねても常に新しいことにチャレンジする姿勢は失わないようにしたいなと。そういう気持ちが改めて芽生えてきました。

——そこから新しい動きを始めるにあたって、どんなことを考えたんでしょうか。

KOBAMETAL まず、2014年に海外活動を本格的に始めて、メンバーとともに海外を回る中で「世界は広い」ということを実感したんですね。それまではネット上でのリアクションでしかわからなかったものが、実際にライブ会場に足を運ぶと「何をきっかけにチケットを買ってBABYMETALのライブに来てくれたんだろう?」と感じるほど、さまざまなタイプの人がありました。そこからあれよあれよと海外でもアリーナクラスのライブをさせていただくようになったり、フェスに出演させていただいたり、レジェンドクラスのアーティストさんのツアーサポートをさせていただくようになりました。そこで「まだまだ世界は広いな」と感じたのと同時に、世の中のさまざまな変化に伴って、時間的なことや物理

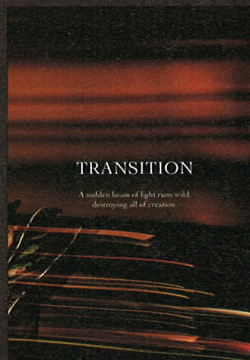
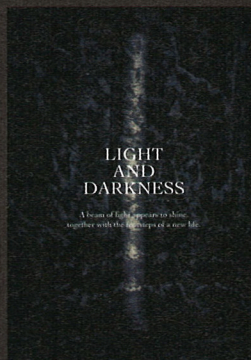
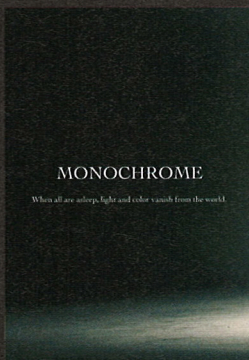
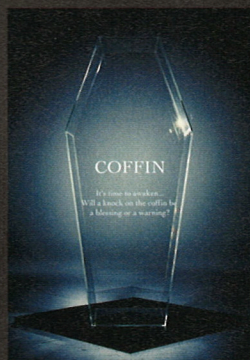
的なこと、それぞれに限りがあるのを感じたんですね。つまり、「こうやってライブ活動をできることは当たり前ではないんじゃないか?」と。

——そういう考えに至る、ターニングポイントは?

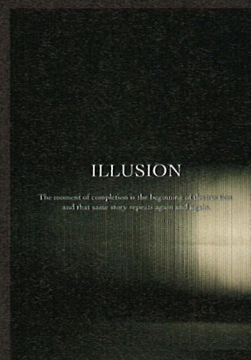
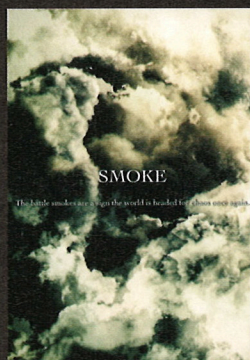
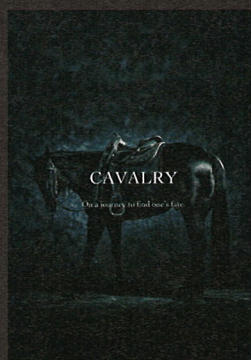
KOBAMETAL やはり2020年だと思っています。海外ツアーを行っていく中で、いずれはいろいろなものがデジタルに移行していくんだろうなという感覚はありました。BABYMETALが活動しはじめた2010年ぐらいからYouTubeが日本でも本格的に普及しだして、その前の2007年にiPhoneが初めて発表されたり。それから10年経った2020年あたりには、もうYouTubeは当たり前、iPhoneはみんな持っているという状態でした。でも、10年前にその状況を予想できていたかという、YouTubeに対してはレベルもちょっと否定的だったと思うんです。でも、そんな状況が激変して、デジタルへの移行が急激に加速し、より鮮明になったのがコロナ禍のタイミングだったと思うんですね。

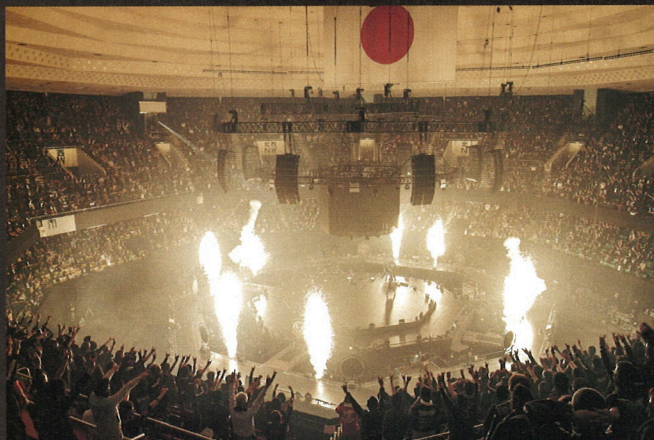
——2020年は、1月に『METAL GALAXY』のツアーファイナルが幕張メッセでありましたね。

KOBAMETAL ちょうど日本がコロナの影響を受けはじめたときだったんですけど、公演中止には至らずに無事に終えることができました。そして、2月にヨーロッパツアーへ出て3月ま



(THE OTHER ONE) の (DIGITAL GALLERY) にはパラレルワールドへの扉があり、新たな楽曲やビジュアルの復元過程をランダムに現在進行形で体験できる





で続いたんですけど、最終公演がロシアだったんです。

——そうでしたね。

KOBAMETAL モスクワでのライブを終えて無事に帰国できたんですけど、その間にアジアはロックダウンに入っている国もあったり、我々が日本に帰ってきたあとにヨーロッパがロックダウンになって、「これはとんでもないことが起こったな」と。そんな中で人々の価値観が変わっていきました。リアルなものがストップしたが故に、本当はもう少しゆっくりと進化するイメージだったあらゆる面でのデジタル化が急速に進んで、その一方でリアルなものが増えつつリアルなものになっていくという現象が起きているのを体感しました。ここ最近では、コロナ禍以前のような状態に戻る流れになってきていると思うんですけど、コンサートに限ってというそうではなくて。これはあくまでも一

般論ですけど、コンサートを作ってるスタッフさんは何百、何千人といるんですけど、今までのようにアルバイトさんが集まらなかったり、音響さん、照明さん、舞台さんといったいわゆる技術職でもコロナの影響で多くの現場がなくなったという方もいらっしゃる。仮に1年や2年後に通常営業に戻ったとしても、そういった方々が現場に戻れるかという点必ずしもそうはいかない可能性もあるんです。たとえば、ものすごくスキルのあるエンジニアの方が違う仕事を始めてしまっていたり、そうなると一緒にライブを作り上げていたピースが欠けることになって、2020年まで一緒に作っていたものが作れなくなるということが現実問題としてあるわけです。もちろん希望はありますけど、現実的に考えて2020年以前と全く同じ状況はたぶん作れないと思うんですね。しかも今、フェスやコンサートも2020年以前

の動員に100%戻っているかという点、そうは見えない。そういう状況はまだまだ続いているし、今後もこれと似たようなことを繰り返していくんだろうと思うんです。

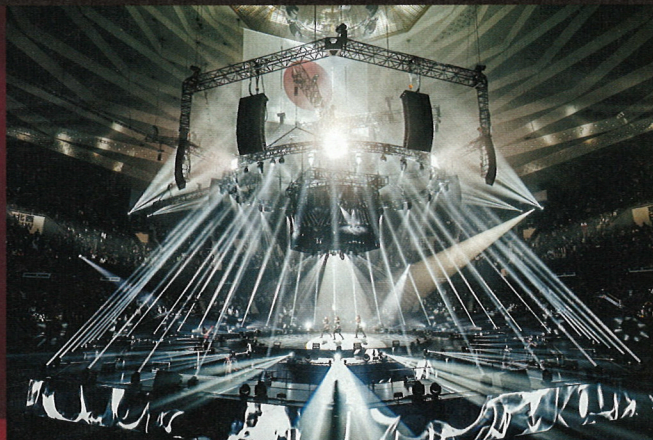
——それはどういうことですか。

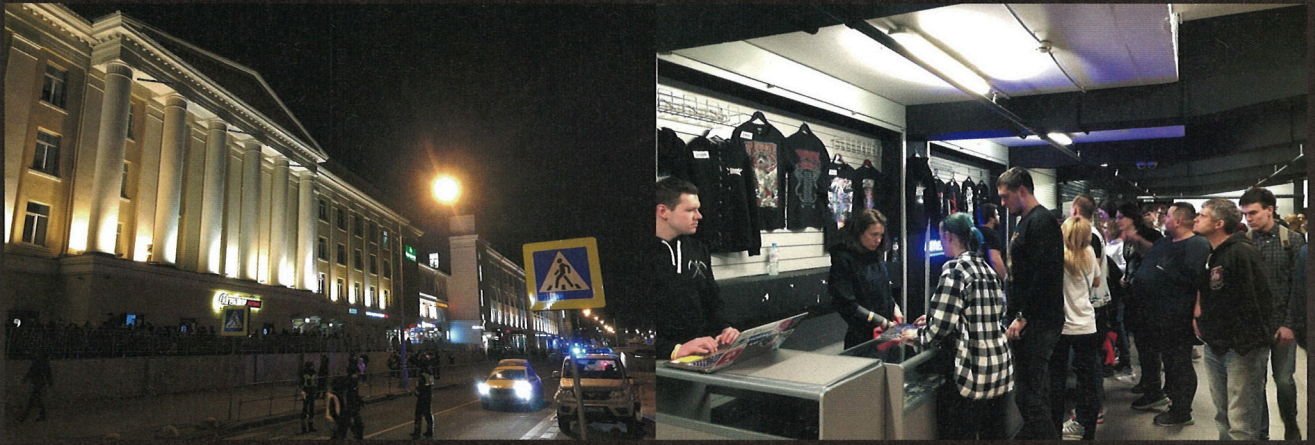
KOBAMETAL つまり、我々にはどうにも制御できない自然災害やアクシデントによって急にいろんなことがストップしたり激変したりするという可能性は今後もあると思うんです。2021年に行ったBABYMETALの武道館公演では、「〈リアルワールド〉が〈ディストピア〉になってしまった」というストーリームービーがありましたけど、こういう状況はまだまだ続くんだろう。しかも、コロナに加えてロシアとウクライナの戦争が始まって、また新たな衝撃が走った。

——今回の戦争の影響としてガソリン価格の高騰がよく挙げられますよね。

KOBAMETAL インフレの影響も加わりガソ

BABYMETAL [10 BABYMETAL BUDOKAN] Photos by Taku Fujii, Taichi Nishimaki





BABYMETALが最後に海外公演を行った国はロシア

リンの価格が上がることで何が起るかという、ワールドツアーを行う際、トラックやバスや飛行機の運賃がアップし、今までと同じ費用で回ることができない。その分のコストを主催者やアーティストが賄えるかというところもいらない。人件費もどんどん上がっていく、そこを抑えてやっていただけるようお願いできるかといってもなかなかそうはいかない。コンサートスタッフのみなさんにも生活があり

ますから。そういうことが積み重なっていくと、〈リアルワールド〉というものがますますレアなものになっていきますし、そこに対して価値をつけていかないと回らない世の中になっていくと思うんですね。

——たしかにそうですね。

KOBAMETAL あと、BABYMETALが最後に海外公演を行った国はロシアですけど、そこでお世話になった方々はみなさん温かかっ

たですし、会場に集まっていたファンの方々ともBABYMETALを通じて一つになれた。それに、もしかしたら近隣国やウクライナのファンの方もロシアの会場まで来ていたかもしれない。でも、たった2年でリアルワールドがディストピアに激変してしまったことで、再びロシアでライブをすることは不可能かもしれない。

——今のところ、その可能性は高いです。

KOBAMETAL では、あの日ロシアの会場に集まってくれたBABYMETALのファンの人たちと今後どうやってコミュニケーションを取ればいいのか。今、そのことをリアルに考えています。数年後に、また別の何かが、別の場所で起こるかもしれない。そうなったときにBABYMETALとファンが生き続けるためにはどうしたらいいのか。そんなことを考えた末に、〈リアルワールド〉や〈ディストピア〉に代わる

BABYMETAL [METAL GALAXY WORLD TOUR] 2020.3.1 Adrenaline Stadium, ロシア・モスクワ Photo by Ato Daishi



〈ユートピア〉的なもの、〈BABYMETALワールド〉みたいなものを創っていく必要があるんじゃないかと思ったんです。そこで浮かんだのが〈METALVERSE〉というコンセプト、概念だったんですよ。

——なるほど。

KOBAMETAL また、コロナ禍や戦争のようなアクシデントも要因にあるのかもしれませんが、昨今、社会の分断や対立が起こり、インターネット上での誹謗中傷、フェイクニュースなどが氾濫する混沌とした世の中で、改めて何が真実なのか？を見極める自分たちなりの視点を持つことの大切さや、自分たちの信じるもの、好きなもの、それらをどうやって守っていくことができるのか？そこに集う人は？集う場所は？などなど考える中で、また今後いつか〈リアルワールド〉でアクシデントが起こったときにみんなが集える場所があったほうがいいし、そういうことが起こらないとしても、デジタル化の波はますます加速することを考えると、〈リアルワールド〉と〈バーチャルワールド〉が共存していくことは必然なんじゃないかと。特に、メンバーやスタッフは現時点での海外での最終公演がロシアだったということ

もあって、みなさん以上にリアルに肌で感じているところもあって。なので、もしかしたら世間との温度差はあるかもしれませんが。

——たしかに、僕の感覚からすると「なぜ今、〈METALVERSE〉なんだろう？」というのが正直なところでした。最近の盛り上がりを受けて流行りに乗ったのかな、とか。でも、話を伺っているうちに考えを改めました。でも、聞くところによると、KOBAMETALさんはアナログ人間だそうですね。

KOBAMETAL おっしゃるように、ワタクシはファミコン禁止の家庭で育ったこともあって根っこはアナログタイプではあります。でも、NFTやメタバースがやりたいということではないんですよ。それはあくまでも手段であって、〈METALVERSE〉というBABYMETALワールド、コミュニティ、ユニバース……呼び方はいろいろあると思うんですけど、それを通じてBABYMETALとファンが新たなスタイルで共に生き続けることを目指していきたいんです。

——ただ、いきなりメタバースを始めようとしてもクリアしなければならぬ壁がたくさんありますよね。第1段階としてはどのレベルまで考えていたんですか。

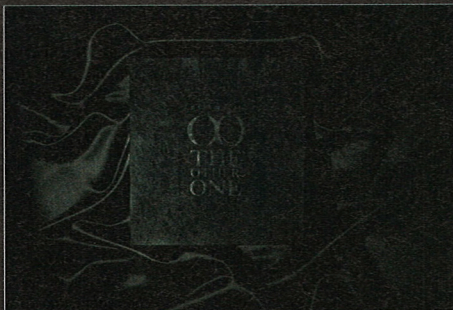
KOBAMETAL 一気にメタバースに持っていかうとは考えていません。iPhoneもそうだったと思うんですけど、最初に出てきたときは「これってどうやって使うんだ？」とか「ガラケーで十分じゃないか？」みたいに言われてましたよね。でも、あれはたった10年前の話です。

——今やスマホは生活必需品でもんね。

KOBAMETAL 同じように、今メタバースと言われても、みんながVRゴーグルを持っているわけではないし、あれを何時間も身につけているのは疲れるから、ここ1、2年とか数年のスパンで考えると現実的ではないと思うんですけど、まずはワタクシみたいなおじさんでも手軽に楽しんだり、うまく使いこなすにはどうしたらいいんだろっていうところに興味をもったんです。

——なるほど。少しずつ〈METALVERSE〉の狙いが見えてきました。

KOBAMETAL めちゃめちゃ最先端なことだけを目指しているわけじゃなくて、小さいお子さんからおじいちゃんおばあちゃんまで楽しめるもの、BABYMETALの〈METALVERSE〉はある意味の「概念」なので。今はNFTなどを取り扱う際には、暗号資産やブロッ



「THE OTHER ONE - BLACK BOX THE」 (PHOTO CARD / DIGITAL GALLERY ACCESS CODE) ¥15,000

パラレルワールドで繰り広げられる、まだ見ぬBABYMETALの世界が映し出されたフォトカードと共に、「METALVERSE (メタルバース)」のアルゴリズムによって生成される、新たな楽曲やビジュアルの復元過程を、ランダムに現在進行形で体験することができる「THE OTHER ONE - DIGITAL GALLERY」のACCESS CODEも同梱。BABYMETAL「THE OTHER ONE」 <https://too.babymetal.com/>



BABYMETALが1Blockとコラボレーションし、NFTバーチャルスニーカーを販売。バーチャルワールド「METALVERSE (メタルバース)」を舞台にしたBABYMETALの新展開した。いずれも1点ものの「NFT」として発行され、バーチャルワールドで着用可能なシューズやフィジカルのスニーカーもいずれかのタイミングで保有者に付与を予定。



BABYMETAL初のNFTトレーディングカード結成10周年を記念し、2021年6月に発売したBABYMETAL初のNFTトレーディングカード。WAXのブロックチェーンを使用し、アメリカの特設サイトにて、72時間限定で販売。BABYMETAL、10年間の活動を表現した「METAL RESISTANCE全10章」の各章を象徴するデザインからなる全10種類のトレーディングカードに加え、ベストアルバム「10 BABYMETAL YEARS」のゴールドヴァイナルのアナログ盤が付属する特別仕様も販売。同年9月、新たに限定NFTトレーディングカード「10 BABYMETAL BUDOKAN」を発売。

クチェーンの技術を使って、MetaMaskやOpenSeaを利用しますが、まだまだ一般的にはなじみが薄くて、手間がかかる印象が強いと思うんですけど、技術の進歩によって今後iPhoneで簡単にタッチして買い物をするような感覚になっていくと思うので、その将来的に到来するタイミングを目指して今からスタートさせようという考えです。

——メタバースを簡単に説明する上でよく挙げられるのは最近のゲームですよね。

KOBAMETAL 「あつまれ どうぶつの森」とか「フォートナイト」ですよ。ああいうものでゲームを飛び越えた新しいコミュニケーションやエンタテインメントが生まれていたりしますので、アーティストとファンの関係性においてもまた違った形が生まれてくるのかもしれないですし、そういうところに興味がありますね。

——新しい技術が広まるきっかけとしてポップカルチャーがひと役買うことはこれまでも多かった気がします。

KOBAMETAL ああ、そうかもしれないですね。やっぱり、すごく面倒くさいけど好きなもののためなら苦にならない、みたいなモチベーションが利用者側にもあると、ハードルが下がる

のかもかもしれませんね。

——BABYMETALがそういう存在になってくれたらいいですね。

KOBAMETAL 今後、BABYMETALがリアルだけでなく、その先を見据えたバーチャルワールドでも並行してマルチバース的な活動していくのかも可能性があると思うですよ。そこで新たなBABYMETALのストーリーが展開を見せていったり。

——現時点ではどんなことが思い浮かびますか。

KOBAMETAL 今まで想像できなかったような、もはや従来の「ライブ」や「オンラインライブ」のそれとは違う、そのような言葉に変わる新しい名称のパフォーマンスのスタイルや演出が誕生すると考えられます。テクノロジーとイマジネーションを融合させた、物理的な制限から解放された全く別次元の発想で作られる新しいエンタテインメントの可能性があるので、それ以外にもコミュニティーやゲームやクリエイターなど様々な視点で可能性があると考えています。世の中がやがてメタバース社会へと向かっていく初期段階、実験的なチャレンジで〈METALVERSE〉はスタートすることになると思います。決して一気にメ

タバース社会へとは考えていませんが、ワタクシのようなアナログタイプな方でも馴染めるようにちよっとずつ触れていただく。そして、5年、10年経ったときに新しい取り組みが、頭にインプットされる状況が作れたらいいんじゃないかな。

——今日はいろいろと興味深い話が聞けました。

KOBAMETAL 最後に、コロナ禍になったり、最後のワールドツアーがロシアで終わったということもあり、珍しくシリアスなことをお話しさせていただくと、ワタクシの好きなミュージカルで『レント』という作品があるんですけど、ジョナサン・ラーソンという方が書かれた「戦争の反対は平和ではない、創造だ」というセリフがすごく好きなんです。リアルなものが壊されてしまうという対義として新しいものを創造していく、という解釈をしているのですが、その意味合いに加えて言葉のチョイスやセンスもすてきだなと思っています。〈METALVERSE〉もそのような発想に通ずる部分があって、〈METALVERSE〉でBABYMETALと共に、BABYMETALをサポートし、共に歩いていく人々と、既存の世界から新しい世界を創っていく、そんな想いがあります。▶

BABYMETALと共に歩いていく人々と、新しい世界を創っていく ——



CD info.

「10 BABYMETAL YEARS」

now on sale / (CD) ¥2,200. (VINYL) ¥5,500. (CD+「ALL MUSIC CLIPS」Blu-ray) ¥4,180. (CD+「10 LEGEND ARTWORKS」) ¥5,280 ほか
TOY'S FACTORY
<https://www.toysfactory.co.jp/artist/babymetal/10babymetalyears>



Blu-ray, DVD, CD info.

「10 BABYMETAL BUDOKAN」

now on sale / (2Blu-ray) ¥15,400. (Blu-ray) ¥7,700. (DVD) ¥6,600. (CD) ¥3,300 ほか
TOY'S FACTORY
<https://www.toysfactory.co.jp/artist/babymetal/10babymetalbudokan/>



BOOK info.

LIVE HISTORY BOOK 「10 BABYMETAL LEGENDS」

KOBAMETAL・著 びあMUSIC COMPLEX・編
now on sale / (A5判・224P) ¥1,870 びあ